

2023年10月20日

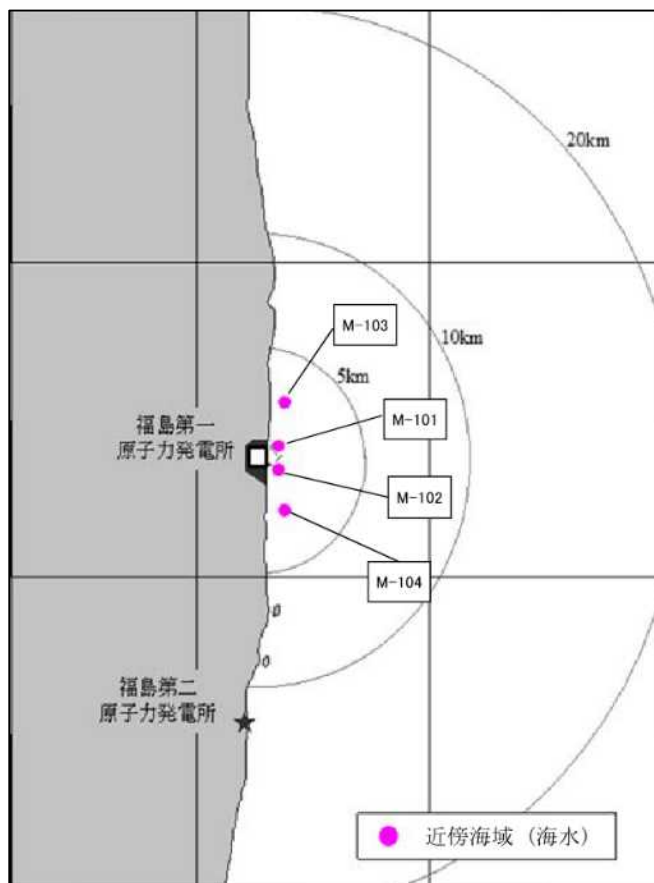
ALPS 処理水に係る海域モニタリングの結果について (令和5年9月1日採取分)

- 原子力規制委員会では、ALPS 処理水に係る海域モニタリングとして、東京電力福島第一原子力発電所の近傍・沖合海域において、海水中のトリチウムのモニタリングを実施しています。

近傍海域（～3km）	4 地点	毎月
沖合海域（概ね 30km～90km）	16 地点	四半期

※検出下限値を 0.1Bq/L とする精密な分析を実施。

- 今回は、ALPS 処理水の放出開始後の 1 回目のモニタリング結果をお知らせするものです。令和5年9月1日（金）に、近傍海域において採取した海水試料を分析した結果、トリチウムの濃度は、最大 0.097Bq/L であり、人や環境への影響がないことを確認しました。



採取場所	トリチウム濃度 (Bq/L)
M-101	0.066
M-102	<0.052
M-103	0.097
M-104	0.079

- 結果の詳細については、下記の関係ページを御覧ください。また、今後の結果についても、当該ページを随時更新して掲載していきます。

<関係ページ>

- ALPS 処理水に係る海域環境モニタリング結果
<https://radioactivity.nra.go.jp/ja/list/428/list-1.html>

《担当》

原子力規制庁 放射線防護グループ 監視情報課

担当：細貝、池田、河野

電話：03-3581-3352(代表)

03-5114-2125(直通)